

行財政改革大綱の取組結果について

2021(令和3)年度～2023(令和5)年度までを期間として、具体的な取組計画に基づき進めた行財政改革の3年間の取組結果をお知らせします。

2021(令和3)年度～2023(令和5)年度の取組結果

・ 取 組 **52 事業** ・ 効 果 額 **2億4,362 万円**

(歳入の増加 : 1億5,545万8千円、歳出の削減 : 8,816万5千円)

長期的な取組 ▶市単独公共下水道(西部処理区)を県流域下水道へ編入
(令和8年度に合流区域、令和13年度に分流区域を接続予定)
【建設費削減額 約200億円(上下水道部による算定)】

主な取組 ※【 】内は3年間の効果額



人に優しい デジタル化

- ▶スマート窓口(書かない窓口)の導入
- ▶庁内コンビニ交付端末の導入
- ▶行政手続のオンライン化の推進
- ▶RPAによる業務の負荷軽減・効率化
- ▶市・県民税申告受付の完全予約制の実施
- ▶窓口手数料等のキャッシュレス決済の拡大
- ▶上下水道料金のスマートフォン決済による納付の導入
- ▶消防活動におけるスマートフォンの映像利用



財政・資産 の改革

- ▶働く婦人の家の廃止と跡地施設の有効活用
- ▶学校給食調理業務の民間委託の推進
【4,534万8千円】
- ▶搬入ごみ受入処理業務の民間委託の推進
【4,281万7千円】
- ▶民間活力を活用した公立保育園の施設整備
- ▶事業所税の経過措置減免の減免割合の逡減
【1億4,700万円】
- ▶ふるさと納税による動物愛護事業費の寄附募集
【845万8千円】



人材・組織 の改革

- ▶組織・機構の見直し
- ▶保健所と保健センターによる総合的な保健衛生サービスの提供
- ▶福祉総合相談室の設置
- ▶消防救急課の創設及び本部救急隊の発足
- ▶高度救助隊の編成と運用
- ▶産業廃棄物処理施設の設置にかかる紛争予防



官民連携・コミュ ニティ力の強化

- ▶官民連携による一宮駅周辺の新たなまちづくり
- ▶地域づくり協議会の設置・運営と交付金の見直し
- ▶地域住民等との協働によるおでかけ広場の充実

問合せ先 総務部行政課 内線1110